

探究する楽しさを

存分に味わう



令和6年度 信州大学教育学部 附属松本小学校 グランドデザイン

【学校教育目標】

活気ある子ども

集中する子ども

仲のよい子ども

具現を図るための8項目

＜①子どもと創るカリキュラム＞

～中核活動をマネジメントする～

- ・この学級ならではのカリキュラム
- ・半歩先を行く教師のカリマネ
- ・教科横断的な視点の重視
- ・FMS祭を通じた活動の見返し

＜③教育課程特例校＞

～遊び→領域→教科～

- ・遊びから緩やかな教科への統合を意図した「領域」の設置
- ・子どもの「思い願い問い」を出発点に

＜④探究のサイクル構築＞

～繰り返し対象に関わる～

- ・対象を取り巻く「もの・ひと・こと」との出会い
- ・「課題把握→情報収集→整理分析→まとめ表現」を意識した単元デザイン

＜②附属松本小応援団＞

～世の中とのつながり～

- ・各種ボランティア募集
- ・地域人材の活用
- ・地域の各種団体との連携

【学校経営の重点】

探究する楽しさを

存分に味わう

授業づくり

何を学ぶか

どのように学ぶか

何ができるようになるか

＜⑤日々の授業の充実＞

～教師の指導力向上～

- ・学習問題、課題の設定
- ・次時につながる振り返り
- ・学びの足跡が分る板書

＜⑥育成を目指す資質・能力＞

～個の追究を保証し「協働」の取組を進める中で～

- ・対象を面白がり働きかけていく力
- ・未知の状況でも働く思考判断表現力
- ・自らの学びを振り返り調整する力

＜⑦働き方改革＞

～目的は授業の質の向上～

- ・業務の精選, 効率化
- ・ICT活用による情報共有
- ・風通しよく語らう職場創り

＜⑧附属松本の強み＞

～幼小中松本3校園連携～

- ・校種を超えた授業参観による授業観、子ども観の更新
- ・省察を通じた、教師の在り様の更新
- ・いじめ、不登校への組織対応

【発揮される見方・考え方】（子どもに内在するよさ）

「自己表現」（自分らしい表現）

「課題探究」（こだわりの追究）

「社会参画」（多様な他者との協働）

附属松本小学校園 12年間で育む子どもの姿